

—特集—

# 「登米」 という選択

「昔は活気があって良かった」「ここは田舎だから何もない」。

広報取材の中で、たびたび聞かれる市民の声。

近年、特に地方部において課題となっている人口減少は、本市においても大きな課題である。本市が誕生した2005年、国勢調査において8万9316人だった人口は、21年10月末時点で7万6369人。16年間で約1万3千人もの人口が減少している。

進学や就職、結婚などのため、本市を離れる人がいる一方で、ある会社は映像作品の題材として、ある飲食店は提供する食材の産地として、ある人は起業の場所として、ある家族は移住先として。全国の数ある市町村の中から、「登米」を選んでいる人が多くいる。

今号は、たくさんの選択肢の中から、「登米」を選択した人々の声を通して、本市の魅力について考える。

